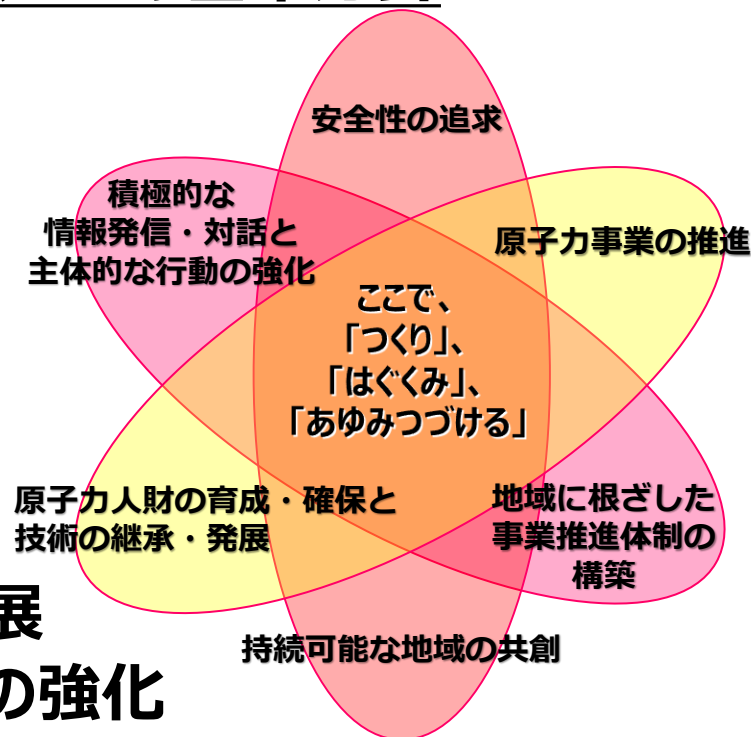


当社は、2019年3月、原子力事業を進めていく基本姿勢を「青森行動計画」としてとりまとめ、同年7月には、それを具体化するため、「青森事業本部」を設置しました。

私たちは、青森行動計画の基本コンセプトであるここで「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける」を基本に、6つの基本方針のもと日々取り組んでいます。

■ 6つの基本方針

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化



1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (1/3)

- ◇ 1日も早い建設再開に向けて新規制基準の申請準備を進めています。
そうした中で、福島第一原子力発電所の教訓、新規制基準の要求事項、最新の知見などをあらかじめ織り込んだ世界最高水準の安全性を誇る原子力発電所の設計を行うため、日々検討を重ねています。
引き続き全力で設計検討等の諸準備を進め、少しでも早く見通しを提示してまいります。

<主な周辺整備作業について>

- 2011年の福島第一原子力発電所事故以降、建設工事を見合わせていますが、建設作業エリアの造成や管理用道路の整備等の周辺整備作業を継続実施しています。



盛土造成
建設作業エリアの造成



道路整備
管理用道路の整備



港湾設備の維持補修

1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (2/3)

<主な周辺整備作業について>

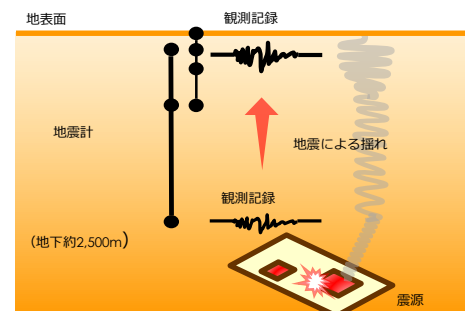
- より安全性に優れたプラント設計を追求するとともに、サイト内における用地や設備の将来的な活用のあり方に必要な材料を収集するため、ボーリングや試掘坑による敷地内の地質・地質構造の調査を継続して実施しています。
- 2022年3月からは、これまで当社敷地内で実施してきた地震観測に加えて地下深く（約2,500m）に調査用地震計を追加で設置し、地下深くからの地震の揺れ方の特性を把握する等、さらなる知見の拡充を図っています。



ボーリング調査



ボーリングコア収納倉庫の増設



地震観測

1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (3/3)

<地質調査等について>

- これまで実施してきた地質調査等を踏まえて、安全性を確保したうえで建設を円滑に進める観点から、建設エリア内における建物、設備等の配置計画の変更も検討しています。
- 地質調査、新規制基準等を踏まえた設計検討を実施しています。本社機能を移転した設計チームと建設所、メーカーが連携して検討を進めており、早期の見通し提示、工事再開を目指します。



試掘坑調査



試掘坑内部



3. 地域に根ざした事業推進体制の構築 (1/4)

- ◇建設再開や原子力事業を進めていくにあたり、機能・人員等の更なる強化が必要なことから、計画的に基盤整備を実施しています。
- ◇それを通じて地域づくり等にも貢献したいと考えており、防災や地域のコミュニケーションにも資するような施設を検討・整備中です。

<「東通ヘッドオフィス」計画>

- ヘッドオフィスの事務所や住居・交流施設（独单身寮90室）の整備を開始（2023年8月着工、2024年12月竣工予定）
- 食堂・コインランドリーなど福利厚生施設の一部は地域に開放予定（詳細検討中）
- オフィス棟の一階は自然災害時の資機材置場等にも活用予定



食 堂



コインランドリー



【ヘッドオフィス計画予定地】
東通村の役場などが集積する
「ひとみの里」にて建設中

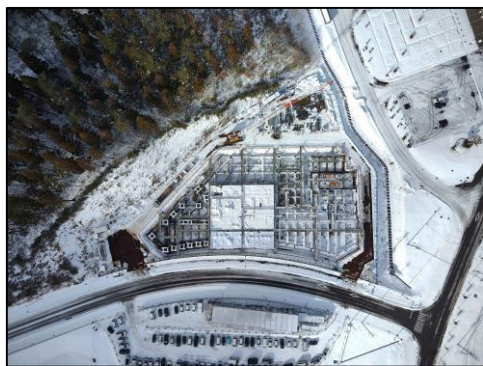
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築 (2/4)

<「東通ヘッドオフィス」計画工事の進捗状況>

※2024年1月撮影



オフィス棟



住居・交流施設棟



<建設工事中の安全への取り組み>

- 建設中は大型車両の出入りの際は交通誘導員を配置し、一般の方々との事故が起こらないよう注意を払うなど、安全を最優先に工事を進めております。
- また、学校行事にも配慮しながら、工事を進めております。

3. 地域に根ざした事業推進体制の構築 (3/4)

<「東通ヘッドオフィス」の特徴 (環境性能) >

- 地球環境問題や求められる高いレジリエンス性能 (非常時の機能維持) を考え、通常時は省エネルギー・蓄エネルギー・創エネルギー性能の高い建物とし、災害時は、それらの性能の高さにより、少ないエネルギーでも機能維持でき、災害時に村の防災機能の補完もできるよう、エネルギー最先端の建物を目指して、設計・建設しております。



オフィス棟
(外観イメージ)



住居・交流施設棟
(外観イメージ)

3. 地域に根ざした事業推進体制の構築 (4/4)

<「ひとみの里家族寮」ならびに「新小田野沢寮」の増築>

- ひとみの里家族寮の増築
(4棟、2023年7月竣工 今後も計画的に増築)
- 国道338号線沿い新小田野沢寮の増築 (50室、2023年9月竣工)



ひとみの里家族寮の増築



新小田野沢寮の増築



4. 持続可能な地域の共創（1/3）

◇地域の発展と原子力事業の基盤整備につながる事業への貢献や、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域とともに創る取り組みを行っています。

<「一般社団法人東通みらい共創協議会」による主な協力実績>

➤ 東通村と当社が長期的な時間軸の中で資金を拠出し、持続可能な地域づくりや当社原子力事業の基盤整備等につながる事業に貢献しています。

<これまでの主な協力事業>

- 学校司書やスクールサポーター
- 防災行政用無線増設事業
- 定住促進住宅用地補助金
- 出産費用助成への支援
- こども園通園バス運行事業
- 集会施設修繕事業
- 道路の路面標示の補修、整備



学校司書



こども園通園バス



防災行政無線

4. 持続可能な地域の共創 (2/3)

<「産業振興」への取り組み>

- 協議会を活用した産業振興の取り組みとして、地域の特産品のギフトカタログを制作し販売しています。東通の産品を県外含めて広く知っていただくよう展開しています。



(インターネット申込)

<掲載商品 (一部抜粋) >

- 東通牛、ブルーベリー、東通十割そば
- いちご (夏秋いちご、加工品)
- ほっかりん (東通米)
- べこもち (東通村伝統菓子)
- なんばんみそ
- 祈水、能舞の郷



4. 持続可能な地域の共創（3/3）

<「災害協力協定」への取り組み>

- 東通村・当社・東通みらい共創協議会で締結した協定に基づき、避難所用テント・マット、貸出用モバイルバッテリーや電気自動車を配備しました。
- また、村の防災訓練にも参加しています。

<災害協力協定における主な協力内容>

【東京電力】

- ・社員寮等の一部開放
- ・電気自動車による給電

【共創協議会】

- ・避難所用テント・マット、モバイルバッテリーの貸出



電気自動車による
給電訓練



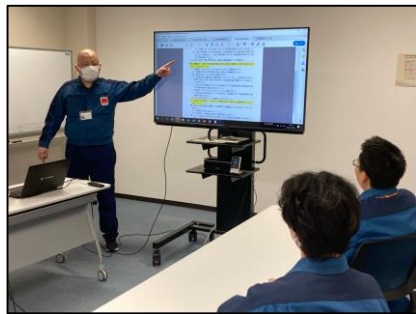
災害時に向けた
テント設営体験



村内防災訓練への
参加

5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承発展

- ◇長期にわたり安全最優先に原子力事業を進めるため、原子力人財の育成・確保と技術の継承を行っています。
- 地域に根差した体制の構築のため、青森事業本部に当社本社をはじめ社外等各分野からエンジニア等を順次配置し体制を強化しています。新入社員も計画的に配置し、建設業務に係るノウハウを継承しています。
- 地元人財の確保のため、積極的な学校訪問やインターンシップ（年2回）受入等を実施しています。
- こうした取組みで原子力人財の育成・確保と技術の継承を推進しています。
- 青森事業本部発足時約70名（本部設立前は50名弱）だった職員は2024年2月末時点で118名となっております。



原子力人財の育成、技術の継承・発展に日々注力



インターンシップの受入（年2回）



学校訪問



2023年度新入社員

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化（1/3）

◇地域に密着した共生活動や情報発信を積極的に行っています。

➤ 私たちは地域のみなさまとの更なる関係深化に向けて積極的に対話をしてまいります。

<2023年度の主な取組>

- 地域イベントへの参画・参加（ドンとボン・盆フェスタ、産業祭り）
- 村直売所の運営スタッフへの協力



ドンとボン・盆フェスタへの参画



産業祭りへの参加



村直売所運営スタッフ

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化 (2/3)

<2023年度の主な取組>

- 村内清掃活動(23地区)・下北ジオパーク「北部海岸」清掃への参加、協力企業と合同での国道338号線の清掃活動の実施
- 東通小学校スポーツ少年団(野球、バレーボール、バスケットボール、陸上)の支援
- 小田野沢地区での学習応援を試験的に実施



東通小学校スポーツ少年団活動支援



村内清掃活動への参加



協力企業と合同での国道338号線の清掃活動



小田野沢地区での学習応援 (試験的に実施)

6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化 (3/3)

<2023年度の主な取組>

- 東通物産品の積極的な販売・購入
(東通村フェア：東通物産品の食堂メニュー・本社販売会)
- 東通村の皆さまを東通原子力建設所サイト内視察にご案内
(2024年度も継続してご案内する予定)
- 広報誌ゆきしろみず (年2回) の発行、全戸訪問 (約2,500戸) による情報発信活動



東通物産品を使用した
食堂メニュー・本社販売会



東通原子力建設所
サイト内視察



全戸訪問



広報誌の発行

- 東通原子力発電所は、当社にとりまして、重要かつ必要不可欠な電源です。
- 今後も安全最優先で作業に取り組み、一日も早く建設工事再開の見通しをお示ししてまいります。
- 当社の取り組みを積極的にお伝えすることはもとより、地域の皆さまからの声をしっかりと受け止め、信頼関係を第一に取り組んでまいります。
- 引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

The logo for TEPCO (Tokai Electric Power Company) is displayed in a bold, red, sans-serif font.